

事例2 切れ目のない家庭教育支援の工夫


市町	壬生町教育委員会生涯学習課
事業	子育て・親育ち講座

1 事業を始めたきっかけ

平成13年度より、家庭の教育力の向上ならびに、地域全体で子どもの育ちを支える環境作りをねらいとしてスタートした。核家族化や人間関係の希薄化等により、子育てやしつけについての悩みを抱え孤独感を感じている保護者の増加や、家庭の教育力の低下が指摘されている。こうした状況を踏まえ、小・中学校や保育園・幼稚園、各地域団体、庁内関係部局等との協働により、様々な機会を利用して、家庭の教育力向上を図るための講座や、保護者同士のゆるやかなつながりを構築するための講座等を開催している。

2 活動内容

講座の種類		対象	主な内容等
① 小・中学校における講座	就学時健康診断時を活用した講座	新入生保護者	壬生町家庭教育支援チームによるワールドカフェ形式での保護者交流会 等
	小学校3年生の子をもつ親のための講座	小3保護者	壬生町家庭教育支援チームによる参加型学習、親子物づくり体験、親子料理教室、子育てに関する講話 等 
	思春期の子をもつ親のための講座	小6保護者 中学生保護者	思春期に関わる講話、親子での体験活動 等 
② 保育園・幼稚園における講座	園児の保護者	物づくり、運動、音楽、自然等、親子での参加型学習	

<p>③ 各地域団体との協働による講座 (公民館係との連携・協力)</p>	<p>団体の構成員 希望する保護者</p>	<p>子育て支援グループ、学校栄養士会によるクッキングスクール、学童野球、スポーツクラブ関係者を対象にした講話（男性を主なターゲットにしている）</p> 
<p>④ 子ども未来課との協働による講座 (子育て支援センター・児童館との連携・協力)</p>	<p>乳児保護者 未就学児保護者 中学生・高校生 等</p>	<p>読み聞かせ、子育てに関する講話、親子ピクス教室、未来の親となる中・高生を対象にした赤ちゃんとのふれあい交流体験、手作りおもちゃ教室 等</p>

3 成果と課題

○成果

- ・多くの保護者が集まる様々な機会に併せて開催したり、各地域団体が予定する研修会等に併せて開催したりすることで、参加率がとても高くなっている。
- ・学童野球の抽選会に併せて開催することで、男性も講座に参加してもらえる。
- ・同じような悩みを持っている保護者が多く、親の持つ思いを共有できる場となっており、好評を得ている。
- ・子ども未来課や関係機関との協働で実施することで、幅広い対象者に対して、充実した講座を提供することができている。また、講座実施における業務の役割分担を明確にすることで、効率よく実施できている。

○課題

- ・父親の講座への参加を促すために、土曜日や夜間に開催するなどの工夫をしているが、まだまだ少ないので、さらに参加率を上げられるような工夫が必要である。
- ・特に小学校では3年に1度、講座を受けることになり保護者の参加率も高いので、マンネリ化防止のためにも、講座の内容を吟味する必要がある。

4 その他

○今後の活動

それぞれの子どもの発達時期に合わせた内容の講座を提供していきたい。今後も、幼少期から思春期までを一連の流れと捉え、切れ目のない支援をしていく。

父親の参加率を上げるために、父親も参加しやすいような講座を今後も年に一つ二つ考えていきたい。
(調査協力: 壬生町教育委員会生涯学習課 主幹兼社会教育主事 安武裕一)